

一、昭和七年度豫算人件費削減反対  
二、公傷中停年減費反対  
三、容疑検束中規程に依る豫算反対  
十二月十五日局内共同闘争委員会に提議賛成を得  
十二月十七日局闘各組合の代表二十二名は局長に會見し  
嘆願書提出し  
十二月十八日局闘委員会を開催回答當日の闘争対策を協  
議決定、  
十二月二十日交總關西地方委員会を開き同じく回答當日  
の闘争対策を議し同時に各郊外電車従業員にも共同闘争を  
アジる事に決定、  
十二月二十二日各郊外電車従業員に對し豫算人件費削減  
反対のアジラを大阪地方は吾自助會及大阪自動車従業員  
組合にて神戸地方は神戸市電従業員組合の手で撒布、  
十二月二十四日嘆願書回答のため局闘の代表二十二名は  
午前十時局長に面會回答を受く  
一、公傷中は停年減費せざる様されたし  
回答「重傷者にして絶對安静を要する者は認む  
二、容疑検束中規程に依る解雇せざる様されたし  
回答「事業に差支へずから容認し難し  
三、昭和七年度豫算人件費削減せざる様されたし  
回答「從來よりも人件費待遇には手をつけぬ様やつて

六  
來た今後も出來得る限り從來通りの方針で進みたい  
右回答に對し委員は交々質問抗議し午後一時引上げ、  
同日午後六時より局闘委員会を開催し回答対策の協議の  
結果回答には勿論不満だが即時再嘆願書として提出せず此  
不誠意極まる回答を宜敷大衆に報告し豫算實行に際し人件  
費削減ある場合の取調準備のため組織の完備陣營を確立す  
る事に決定し、  
十二月二十六、七兩日の交總常任委員会にも臨み局闘委  
員會同様な決定をみた。  
此間關東に於て市會の開催が早められた爲めに情勢急變  
し、  
一月十四日交總關西地方委員会は東京交通労働組合の提  
唱により再嘆願書を一月二十三日に一齊に提出する事に決  
定。  
一月十九日中央委員会は再嘆願書提出と闘争のため職場  
ストの豫習デモの訓練等を敢行し交總ゼネストへと指導す  
る事、且局闘へも提議する事に決定し、  
一月二十日の局闘委員会にて承認を得、  
一月二十三日局闘各組合の代表二十一名は局長に面會再  
嘆願書を出し回答を二月一日と決め俺達の意氣を示し目  
的貫徹のため、  
一月三十日天王寺公會堂にて人件費削減暴壓反対大演説

會を開催し官大の彈壓の真只中で辯士廿有餘名は注意中止  
連發をクトバンで熱辯を振り檢束者十二名大盛會裡に閉會  
す。然して  
二月一日再嘆願書の回答を受くべく局闘代表二十三名局  
長に面會回答を受けたるも其内容少しく詳細に亘るのみに  
て前回と同様であつた。  
同日本部にて擴大中央委員会を開催し回答対策を協議の  
結果回答には猶不滿にて能くまで目的貫徹のため運動を繼  
續するが局闘及び交總に具體的闘争方法を一任し其指令を  
嚴守し闘争する事に決定。  
二月二日局闘委員会は對策を交總に一任し全國的な最後  
的統一闘争をする事及び市會に對する闘争することを決  
議す。  
二月四日交總常任委員会は各組合の回答情況報告に依り  
最後の闘争のため當局及市會に要求書を提出することにし  
各組合は急速に其準備をなすことに決す。  
二月六日局闘委員会は市會に對する闘争の皮切りとして  
市債元利のモラトリアムを即時斷行せよ、豫算人件費削減  
絶對反対の決議文を市長及び市會議員に突き付ける事にし  
二月八日市會開催當日に實行し要求書提出のための闘争  
準備として局内共同闘争委員会の組織の改革地區委員會の  
結成闘争委員会の開催等の最中横濱市電に於て賞與半減昇

七  
給停止の大彈壓が發表され、交總は此彈壓粉砕のためゼネ  
ストの方針を樹て各組合に指令すれば當局の退散官大の彈  
壓は極度に廣濱市電共和會の職闘分子を始め東交、交總の  
幹部總檢束をなしたために共和會の兄弟はいやが上にも憤激  
し遂に  
三月十二日總罷業決行したが交總幹部檢束のため各組合  
との連絡の不備と共和會内部に於ける一部反動の策動官大  
に依る未曾有の暴壓は交總の計畫たる十五日のゼネストを  
前にして十三日争議を打切る事の止むなきに至つた。  
四月四日交總常任委員会は廣濱市電争議に於ける批判檢  
討をなし誤謬を清算し同時に昭和七年度の豫算も既に決定  
せる事なれば此豫算反対闘争は一先づ打切り新らしく闘争  
方針を樹て闘争する事に決議す。  
2、出兵應召者現職扱要求  
の  
ための闘争  
滿洲事變勃發以來政府は國家の權益擁護と移民保護に精  
口し、労働者農民を帝國主義戦争のために動員し吾電氣局  
従業員中にも出征又は禁足命令を受けたる者續出した。  
此所謂國家的義務に服する出兵應召者に對し吾電氣局は  
應召六ヶ月を超ゆれば採用規程に依り豫算するの方針で臨